

国語

第5学年

育成を目指す資質・能力

【思考力・表現力】【自分への自信】

単元名

## 児童会に“あいさつ向上計画”を提案しよう。

話す・聞く 意見と理由を聞き取ろう

### 【単元の概要】

単元の導入では、児童会からの依頼を受けたあいさつ向上に関する話し合いを行います。その中で、児童は聞き取る力に問題があることを発見し、問題の解決方法を考え、教科書で学習を進めます。単元の最後は、もう一度、児童会からの依頼を受けた話し合いをして、自分の聞き取る力の変容を確かめ、実際に児童会にあいさつ向上計画を提案します。

学習指導要領における領域・内容

A 話すこと・聞くこと エ オ

他教科等との関連

特別活動（児童会活動）

### ◆単元の目標

意見と理由を区別して聞き取り、複数の人の発言の共通点を見付けて整理することに意欲的に取り組もうとする。話し手の意図を捉えながら聞き、複数の人の発言の意見と理由の共通点や相違点を聞き取ることを通して、文や文章にはいろいろな構成があることを理解し、話の聞き方について自分の成長を自覚し、自信をもつことができる。

### ◆単元の展開（全5時間）

| 学習過程                                       | 児童生徒の思考の深まり   | 指導のポイント<br>他教科等との関連  |
|--|---|--|
| <b>課題の設定（1）</b>                            |   |  |
| 依頼された話題で話し合う。                              | <p>○あいさつをする人とならない人がいるね。代表委員会で児童会から話があったそうだよ。</p> <p>○6年生の力になってあげたいけど、僕たちの話し合いは色んな意見が出て、まとまらないね。何を提案したらいいんだろう。</p> <p>（実生活の話題で話し合うことに対して意欲を高めているが、うまくいかないと感じている。）</p>  | <p>【特別活動】児童会でのあいさつ運動を想起させる。</p> <p>■（事前の取組）児童会から全校のあいさつを向上させるための方法を5年生に提案してもらうよう、5年生の学級代表を通じて依頼してもらっておく。</p>   |
| 話し合いでうまくいかなかった点とその原因を考える。                  | <p>○話し合いの中で、意見を言いたくなくなって決めたいことがなかなか決まらなかったり、同時に違う意見を言ったりして困ることが多いよ。</p> <p>○言い終わっていないのに自分の意見を言う人がいたり、つながらない意見を言う人もいたりするよね。</p> <p>○アンケート結果をみると、どうやら、僕たちの話し合いがうまくいかない原因は話の聞き方に問題があるみたいだね。</p> <p>（実際に話し合いをして、話し合いがうまくいかない原因を考えることで、話の聞き方についての問題意識を明確にもち始めている。）</p> | <p>■事前に話し合いの実態調査としてアンケート調査を行っておき、話し合いがうまくいかないと思っている児童の割合やその理由等を把握しておく。</p> <p>■授業中に、児童から話し合いの問題点が出にくい場合は、事前アンケートの結果を提示し、日頃の話し合いでうまくいかない点を想起させた上で、問題点を発見させる。</p>                                  |
| 事前のアンケート結果と関連付け、聞き方に問題があることに気付く。           | <p>○話の聞き方のコツってどんなのだろう。</p> <p>○調べる方法は、本や教科書、インターネット、上級生に聞くなど色々あるね。</p> <p>○みんなで調べるときは教科書を使おう。</p> <p>（話の聞き方のコツを調べるために、多様な方法を挙げ、その中から教科書を使った解決方法を全員の共通手段としている。）</p>  | <p>■「聞き方の問題を解決する方法は何かありますか。」という発問では、教師が意図している調査方法に関する回答は児童から得られにくい場合がある。そのため、「聞き方のテクニックやコツについて調べるにはどのような方法がありますか。」と発問することで、調査方法に関する回答を得やすくなると考えられる。</p> <p>■単元末に再度話し合いを行うことを確認し、学習の見直しをもたせる。</p> |
| どんな聞き方をすればいいのだろうという問いをもち、聞き方について調べる方法を考える。 |   |  |
| 話の聞き方を身に付け、あいさつ向上計画の提案をしよう。                |   |  |

| 学習過程   | 児童生徒の思考の深まり   | 指導のポイント<br>他教科等との関連  |
|--|---|--|
| <b>情報の収集、整理・分析（２）</b>                            |   |  |
| <p>教科書 P43（東京書籍）を読み、意見と理由を聞き分けながらメモを書く手法を知る。</p> | <p>○話し合いを上手に進めるためには、その人の意見だけでなく、理由にも目を向けて聞くことが大切なんだな。<br/>○メモを書くときは、意見と理由を分けてメモすると分かりやすくなるね。</p>  | <p>■最初に教科書 P43 を音読させ、学習内容の大体を把握させおき、そのあとで、教科書を伏せて実際に教師の範読を聞きながら、メモを書くという流れで学習の見通しをもたせる。</p>    |
| <p>教科書 P43 の教師の範読を聞き、意見と理由を聞き分けながらメモを書く。</p>     | <p>生活上の問題を解決するために教科書の内容を読み、聞き方の手法を理解しようとしている。</p>   | <p>■手のひらサイズの付箋紙を配付し、意見と理由を区別しながらメモを書くよう伝える。このことで、共通点を見付ける学習につながる。</p>                          |
| <p>教科書 P44 を読み、意見や理由の共通点を見つけて見出しを立てる手法を知る。</p>   | <p>○話す人によっては、理由を先に話す人がいるから、実際に聞き取りをしてみると、意見と理由をきちんと区別して聞いてメモを書くのは難しいな。<br/>○3人の人の理由を比べると共通点が見えてきたよ。今度から意見が上手にまとめられそうだな。</p>   | <p>■メモを書いた後、教科書を開いて教科書の事例で答え合わせをさせることで、二つのメモを比較する必然性を生じさせ、できるだけ短い言葉で要点のみメモを書くことの大切さに気付かせる。</p> |
| <p>教科書 P44 を参考にして共通点を見つけて見出しを立て、グループで交流する。</p>   | <p>教科書の事例を基に聞き取りを行ってみることで、自信をもち始めている。また、単元末の話し合いに期待をもち始めている。</p>  | <p>■聞き手だけでなく、話し手も意見と理由を明確にして話していることに気付かせ、話すときも意見と理由を意識して話すことが大切であることに気付かせる。</p>                |
| <p>まとめた中から新しい案（意見）を創造する。</p>                     | <p>○共通点に目を付けて意見をまとめて、その後に見出しを立てるのは難しいときもあるね。<br/>○でも、色々な意見や理由の共通点を見つけて見出しを立てていくと、実際の話合いのときには、上手に意見をまとめていくことができそうだよ。</p>   | <p>■最初に教科書 P44 を音読させ、学習内容の大体を把握させおき、そのあとで、教科書を伏せてメモを見比べながら共通点を考え、見出しを立てるという流れで学習の見通しをもたせる。</p> |
|  | <p>共通点を基に見出しを立てる手法が、実際の話合いで意見を収束させる手段として生かせることを認識し始めている。</p>  | <p>■共通点が見付かった付箋紙を1ヶ所にまとめて見出しを立てたり、付箋紙が不足した場合はノートにメモ書きをして見出しを立てたりするよう伝える。</p>                   |
|  | <p>○自分が立てた見出しとは違う人がいたよ。人によっていろいろな共通点のまとめ方や見出しの立て方があるんだな。<br/>○友達が発表した見出しの中にも、さらに共通点を見付けることもできたよ。こうやってまとめていくといいのかな。</p>  | <p>■個人でまとめたものを持ち寄ってグループで交流させることで、共通点のまとめ方や見出しの立て方が多様であることに気付かせる。</p>                           |
|  | <p>考え方の違いを認め合い、多様なまとめ方があることに気付いている。</p>   | <p>■グループで交流した共通点や立てた見出しを発表させ、それらのよさやおもしろさを発表させることで、互いの違いや多様な考えを認め合い、建設的に話し合うことの良いさを実感させる。</p>  |
|  | <p>○「音読」と「音楽劇」の共通点は、どちらも「音」なので、これをまとめると、例えば、お年寄りとの交流会では「音楽を取り入れた音読劇」をしたら、どうかかな。<br/>○共通点でまとめていく話し合いをすれば、みんなの意見が大切にされるから、みんなが納得できるんだな。<br/>○この方法を実際の話合いで使って、児童会にいい提案をしたいな。</p> | <p>■話し合いの過程で新しい案（意見）を創造させることで、意見をまとめたり収束させたりする話し合いの楽しさを感じさせる。</p>                              |
|  | <p>まとめた中から新しい案（意見）を創造し、実際の話合いでも生かそうという意欲を高めている。</p>   | <p>■意見を収束させる手法は教科書には記載されていないが、実際の話合いでは重要な過程であるため、ここで指導しておく。</p>                                |
|  |   | <p>【特別活動】学級会や日常生活での話し合いにも生かせることに気付かせる。</p>   |

| 学習過程  | 児童生徒の思考の深まり   | 指導のポイント<br>他教科等との関連   |
|---|---|---|
| <b>まとめ・表現（１）</b>  |   |   |
| <p>教科書 P256, 257 を書く。その後、共通点を見つけて見出しを立てる。</p> <p>教科書 P256, 257 の事例を基に、実際に話し合いを行う。</p> | <p>○前よりは、意見と理由を区別してメモできるようになった。<br/>○共通点でまとめたり内容に合った見出しを立てたりするのが難しいので、これからの目標にしたい。</p> <p>（以前と比べて話の聞き方が向上したと実感できているが、まだ意見と理由を区別して聞いたり、共通点を見つめたりすることに課題を意識している児童もいる。）</p> <p>○みんなの意見をよく聞いて共通点を見つけて見出しをつくと、意見がまとまってくるのが分かった。<br/>○見出しを基にして新しい案（意見）を出し合うと、みんなの意見を生かした話し合いになることが分かった。</p> <p>（共通点を基に意見をまとめながら話し合いを収束させる手法について理解している。）</p> | <p>■授業の導入で、単元のゴール（単元末の児童の依頼を受けた話し合い）を想起させてから、本時の主活動に向かわせる。</p> <p>■手のひらサイズの付箋紙を配付し、既習事項を活用（意見と理由を区別）しながらメモを書くよう伝える。</p> <p>■共通点が見つかった付箋紙を１ヶ所にまとめて見出しを立てたり、付箋紙が不足した場合はノートにメモ書きをして見出しを立てたりするよう伝える。</p> <p>■話し合いの過程で新しい案（意見）を創造させることで、意見をまとめたり収束させたりする話し合いの楽しさを感じさせる。</p> <p>■実際の話合いでは、話し合いを建設的に収束させるために、既習事項のように意見や理由の共通点に着目することを伝える。</p> |
| <b>実行、振り返り（１）</b>   |   |   |
| <p>既習事項を活用して、第１時と同じ話題で、再度、話し合う。</p> <p>自分の成長や学習の仕方を振り返る。</p>                          | <p>○意見と理由を聞き取ることができるようになったよ。<br/>○意見や理由の共通点を見つけながら話し合うことができたよ。<br/>○「劇であいさつのよさを伝える」という計画は、みんなの考えが生かしてるね。</p> <p>（学習前は、意見を反対し合うことが多く、なかなか意見がまとまらなかったが、学習後は、意見と理由を聞き取って共通点をまとめることで、互いの意見を尊重し、話し合いを収束させることができたよということを実感している。）</p>  | <p>■第１時と同じ話し合いを行わせ、自分の聞き方の問題が克服できていることや、意見や理由の共通点から新しい代案を創造できるようになったことを実感させる。</p> <p>【特別活動】児童会にあいさつ向上計画案を提案する。</p> <p>■授業の振り返りでは、話の聞き方に関する自分の成長や今後の課題等について、自己評価させて記述させる。</p>  |

## 【児童生徒の変容】

単元のはじめでは、話し合いで人の話を聞いたとき、意見と理由をメモしていた児童は全体の６％のみであり、94％の児童が意見のみメモを書いていた。このことから、ほとんどの児童が意見と理由を意識して話を聞く力が十分身に付いていなかったことが分かる。しかし、単元内において、教科書の事例を参考に、実際の話合いを想定しながら人の話を聞き、意見と理由を付箋紙に書いたり共通点から見出しを立てたりする学習を行った結果、98％の児童が意見と理由を適切に聞き取り、メモを書くことができた。また、複数の意見や理由の共通点を見出し、話し合いを収束させるための代案を考えることができた。以上の姿から、児童は話し手の意図を捉えながら聞き、複数の人の発言の意見と理由の共通点や相違点を聞き取る力を身に付けていることから、思考力・表現力が高まっていると捉えている。

さらに、単元末に行った“児童会のあいさつ向上計画”に向けた話し合いでは、前述の成果の他に、付箋紙がなくてもノートに自分なりに共通点をまとめる方法を創造した児童もおり、本単元で習得した聞く力を活用し、発展させていく児童の姿を見ることができた。このことは大きな成果である。

単元途中での振り返りでは「共通点でまとめれば、みんなが納得し、話し合いが成立すると思いました。」「今度は話し合いが上手にできそうだ。」と記述した児童が多くおり、学習の目的を明確にして学習していたことが分かる。このことで、単元末には100％の児童が「意見と理由を区別して聞く力が付いた。」「話し合いで反対するだけでなく、新しい意見を出し合うようになった。」と記述していることから、自分への自信が高まっていると捉えている。